

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ねお放課後デイサービス 新居				公表日	令和7年7月31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	以前は仕切で区切っていましたが、現在は広々と使用できていると思います。	部屋の広さに対して人数が多すぎる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		落ち着かない児童が多く職員も酸素使用しているなど身体に障害がある方もあるため。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		学習机、遊ぶスペースが区別されています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日掃除や消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		管理者会議を行い、後日職員に報告しミーティングを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員全員に報告をし、ミーティングで話し合いをしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日ミーティングを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	同上		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		虐待防止委員会・感染予防・安全計画など、年に数回全事業所内で会議、スマホを使い研修を各自で行っています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		プログラムを行う際、計画書の作成を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者、学校をと共有し支援療育を行いやすい様にしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		前日の振り返りを行い、理解しながらの支援を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		毎朝のミーティングです。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		個々に合った支援、型にはめず日々変化するのでその都度対応していくようにしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		保護者の方から相談があった際、放デーだけではなく、色々な支援方法がある事を伝えていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		夏であれば、高温の時外出をさけ、職員同士話し合いをし、安全に過ごせるような場所を探るようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		月に1回クッキングを行っています。季節ごとのイベント 夏祭りなど。農園を始めたので、収穫した野菜などを使って行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		無理強いを行わず、参加が可能な時に参加をするように言葉がけを行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		前日の振返りを行い、当日注意する点を全員で共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	その都度報告を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ミーティング時は記録をとり、いつでも見直せる様にしてあります。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		都度行っています。職員同士の話し合い、意見などを出し合い療育に繋げている様に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		お買い物体験、農園を通じて（地域の方々との交流、生物に触れる）などの機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		どんな遊びを行ってみたいか、何を作ってみたいかなど、子供の意見を尊重してあげられる様にしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者・児発管が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		感染症の疑いがあった時など、協力医に問い合わせなど行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		おかやま内科さんが、協力医となっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		子供部会に参加し、意見交換などを行ったり相談をしています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7			都合がつく時に参加するようにしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	2		今後実施する予定です。 年間イベントを通し保護者様同士の交流の場を設けたいと思っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			連絡帳など記載があった場合、職員同士共有し管理者に報告し対応するよう心がけています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			月に1度お便りなど発行し、Instagram発信を行っています。 都度更新させていただいています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			報告があった際は直ちに管理者へ伝え後日ミーティングを行っています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1		6月より地域の方と農園を始めました。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			毎月全事業所で担当会議を行い、年に1度は全体訓練を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			毎月1回避難訓練・防犯訓練を行っています。 警察・消防の方にご協力いただき、施設服用薬のコピーを預かり発作時の対応を看護師の方と一緒に対応しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			いつでもマニュアルを見直せる環境にしています。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		お手紙を配布してあります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			その都度提出し、話し合う機会を設けています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			年に数回事業所電態で事例会議を行っています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			利用の際に説明を行いやむを得ない場合がある事をお伝えしています。	